



“カスハラ”を未然に防ぐ小型カメラ「MMbeans®」

専用シリコンケース(右)を含むスターターパック豪華7点セット無料キャンペーン中。マウント・キット(左)などオプション(有料)も用意

医療や介護の現場で深刻化している課題の一つ、「カスタマーハラスメント(カスハラ)」。理不尽な要求や暴言、時には暴力的な振る舞いがスタッフを追い詰め、離職や精神的なダメージにつながるケースは少なくない。すべての企業はカスハラ対策が義務づけられることになっており、現場の声にこたえるべく新たな防犯ソリューションを開発したのがエイト・シーズ株式会社だ。

同社は「安心と安全を、世界にとどける」を理念に掲げ2025年4月に設立された。Matsuno Sangyo グループ株式会社社のグループ企業で、展示商品を守る万引き防止装置を主力としてきたが、市場の成熟と競合増加に直面し、新しい課題解決型ビジネスへの転換を図った。その第一弾、デュアルカメラによる監視システム「ミラとマモル」に続く商品として着目したのが、先のカスハラ問題。これに対し、防犯の視点からトラブルを未然に防ぐ観点で開発したのが、「MMbeans®」(エム

エムビーンズ)である。

名称は、ミラとマモルの頭文字(MM)と、豆(bears)の組み合わせ。手のひらサイズのコンパクトなボディに小さくても頼りになる抑止力を併せ持つソリューションになる。

従来の防犯カメラは、事件が起きた後に記録を確認するものであるが、MMbeans®は「その場で抑止する」ことに最大の特徴がある。2・4インチフルカラー液晶モニターを前面に配置して被写体を投影、相手には記録されていることを自覚させる「フェイス・トゥ・フェイス・モニタリング(FMS)機能」で、トラブルを未然に防ぐ。「抑止力こそ最大の武器」を掲げる商品となっている。

使い方が非常にシンプルであることも特徴の一つ。本体右側には電源ボタンとスイッチボタン。電源ボタンを押して電源を入れ、スイッチを上げると自動的に録画・録音が始まる。また、非常時には本体左側の「パニックボタン」を押せば、外部に危険を知らせる警

報が110dbで作動する。本体は4時間のフル充電で12時間連続稼働。耐久性は高く、IP64の防水・防塵性と2m落下の耐久性があり、屋外や雨の日も安心。記録は、汎用性が高いSDカードに保存。24時間連続録画で1週間分を記録できる。また、赤外線モードで夜間でも鮮明に録画可能だ。

医療スタッフを守る備品に

医療機関では、病院の受付カウンター、ナースステーションや訪問介護車両での利用を想定している。受付カウンターやナースステーションは、日常的にカスハラが発生しやすく、診察を待つ患者やその家族からの怒声や要求に晒されるスタッフを守る役割を果たす。固定された防犯カメラは死角が生じやすいが、MMbeans®は持ち運び可能で、必要に応じて利用できる。AEDのようにいざという時に取り出して使えるよう常備したい。

訪問介護ではさらに重要性が増

す。介護士が患者宅に入る際にはプライベート空間に立ち入るため常時録画には適さないが、車両にMMbeans®を常備し「いざとなれば記録できる」という状況にしておくこと自体が大きな抑止力となる。「録画・録音される可能性がある」と意識させるだけで、不当な言動を控えさせる効果が期待できる。現場スタッフも、必要に応じて録画・録音できる安心感があることで、余計な萎縮や恐怖心を抱かずにケアに集中できる。

また、教育ツールとしても利用可能。ベテラン看護師や理学療法士の所作を映像で残し、新人スタッフの教材とすることができ、勤務シフトの都合で現場を直接見ることもできないスタッフにも知見を共有でき、業務効率化にもつながる。

MMbeans®は2025年8月に発売され、すでに都内のクリニックで導入された。利用者からは「カスハラ対策に限ら

ず、診療時の患者様との会話や治療の映像記録を残せることから、スタッフへの教育やトレーニング素材としても活用できることは大きなメリットです」と評価されている。また、リユースショップや買取専門店といったカスハラ被害が多い店舗でも導入が進むなど、業種を問わず注目を集めている。

価格設定も魅力的だ。利用料は月額2980円(税別)で、初期費用は不要。防犯カメラやボディカメラが非常に高額なことを考えれば、導入ハードルは低い。また、MMbeans®には「心のケア相談窓口」が無償で付帯。これは被害

を受けたスタッフが第三者に相談できる専用ダイヤルで、専門スタッフがヒアリングを行い、議事録を本部や担当者に共有する仕組みだ。小規模クリニックや訪問介護事業所にとっては大きな安心材料となる。

同社は、MMbeans®のさらなる機能拡張を準備中。リリースも近い。今後も社会課題を解決する製品を軸に成長を描く方針で、ブルーオーシャン市場でのニッチトップを狙う戦略を鮮明にしている。高橋聖宜副社長執行役員は「我々の存在意義は社会課題を解決することにある。安心と安全をとどけることで、働く人々の離職や心の傷を防ぎたい」と述べた。



高橋聖宜副社長執行役員(左)と事業開発本部のイネス雷氏

エイト・シーズ株式会社

代表取締役社長
渋谷 翔一郎



所在地(本社)
〒102-0083
東京都千代田区麹町3丁目1番地
麹町テラス 5階

TEL 03-5972-4210
URL <https://8-seas.jp>